



## 4 『認知症』って知っていますか？

6月19日（金）、野方農村環境改善センターにおいて、おおさき認知症部会が『認知症を学ぶ集い』を開催し、約60人の参加がありました。

おおさき認知症部会による認知症支援の現状や取り組み、野方地区を対象に実施された認知症に関する住民意識アンケートの結果報告に続き、『認知症高齢者とうどう向き合うか』と題して、認知症サポート医の春別府稔仁氏による講話が行われました。

講話は、老化によるもの忘れと認知症の違い、認知症高齢者との関わり方や介護の基本、また、認知症高齢者と接するとき大切なことについて具体的な事例を示しながら、『認知症』という病気を知ることの主眼をおいた話となりました。

意見交換では、自分自身でできる認知症予防法や介護する者の心構えなど活発な議論があり、テーマである“大崎町を認知症の人やその家族が自分らしく住める町にする”という認識を深める集いとなりました。おおさき認知症部会の代表である竹元康博さんは、「今後もこのような活動を町内各所で行いたい。」と話されていました。

## 3 奄美の読み聞かせ

6月15日（月）、大崎小学校において、『奄美民話の会』の嘉原カヲリさんと南久美子さんによる絵本の読み聞かせがありました。

はじめに、奄美市の雄大な自然や生息する動植物がスライドで紹介されました。

絵本を動かしたり、場面に合わせて声色を変えながら読む姿に、児童らは絵本の世界に引き込まれている様子でした。また、先生たちを交えた言葉遊びでは、先生たちの新しい一面に児童らは嬉しそうに笑顔を見せていました。

読み聞かせに参加した児童らは、「とても面白かったです。ありがとうございました。」と話し、最後は参加者全員で「ありがっさまりようた！」と大きな声でお礼を言いました。

『奄美民話の会』は、奄美市名瀬を拠点に活動しているボランティア団体で、学童保育や小学校、乳幼児を対象に絵本などの読み聞かせを行っています。

※『ありがっさまりようた』とは奄美の方言で、『ありがとう』という意味です。